



# Investors' Report

## 第57期 第2四半期報告書

平成23年4月1日～平成23年9月30日



## ノリツ鋼機株式会社

〒640-8550 和歌山市梅原579番地の1

TEL 073-406-5678 FAX 073-406-5679

▶ **株主名簿管理人** 三菱UFJ信託銀行株式会社

▶ **同事務取扱場所** 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
TEL 0120-094-777(通話料無料)

▶ **返 送 先** 〒540-8694 大阪東支店私書箱第455号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部



## 株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに当社グループ第57期第2四半期累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。  
平成23年12月

代表取締役社長 **西本 博嗣**

## 事業の概況

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、アジア地域では中国やインドを中心に内需による景気の拡大が継続したものの、米国では失業率の高止まりや住宅価格の下落等に起因する個人消費の低迷が景気持ち直しのテンポを緩め、ヨーロッパではギリシャに端を発する金融危機のもとで各国の財政緊縮による景気の下振れ懸念が払拭されない状況が継続しました。

一方国内経済は、製造業を中心に東日本大震災の影響から緩やかな回復基調が認められるものの、原発問題の長期化や円高の進行、国際金融市場での緊張の高まり等、依然として先行きに対する不透明な状況が続いています。

そのような中、当社グループでは、昨年より「face the NEXT」を新たなブランドステートメントとして掲げ、イメージング事業に加えて、「環境」「食」「医療」分野の事業を成長領域と捉え、当社グループが保有するモノづくり・販売・サービス・ITなどのノウハウを駆使した新規事業の育成と事業強化に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間における成長領域での主な取組みの状況につきましては、環境分野においてLED照明機器市場へ本

格参入を致しました。また印刷機のUVランプに置き換わる次世代・省電力型の照射システムを開発し、これまで蓄積してきた写真処理機器のノウハウを活かし新たな印刷分野での事業拡大に注力しております。食の分野では、安心・安全への関心が高まる中、持分法適用会社であるNKアグリ株式会社が運営する水耕栽培施設において安定生産に向けた生産管理システムの見直しを行う等生産力を強化する施策を実施し、今後期待される需要拡大に対応出来る体制作りを進めております。医療関連分野では、株式会社ドクターネットによる遠隔医療支援ビジネスにおいて、業界に先駆けてQC/QA (Quality Control/Quality Assurance) システムを確立し遠隔読影サービスの品質向上に努めると共に、大阪・福岡での事務所開設、クラウド型遠隔読影システムのASPサービスである「Virtual-RAD」サービスの提供を開始する等営業強化を行いました。

また、従来からのイメージング事業におきましては、写真の楽しみ方の多様化や消費者動向の変化により、写真プリント需要が大きく落ち込んでおり、先進国・新興国を問わず厳しい事業環境が続く中、顧客管理の徹底と提案訪問活動の強化や展示会、内見会への積極的な参加を通じた販売促進活動を行う等、主に営業活動の強化を図り、収益獲得に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、94億79百万円（前年同期比38.6%減）と大幅な減収となりましたが、利益面につきましては前期より実施している構造改革の推進により固定費を中心にコスト削減が奏功し、販売費及び一般管理費が48億11百万円と前年同期と比べ28億2百万円減少した結果、営業利益3億66百万円（前年同期は営業損失1億53百万円）と第2四半期連結累計期間での黒字化を実現しました。

しかしながら、円高による9億87百万円の為替差損（主として外貨建て保有資産等の評価替えによる損失）が発生し、経常損失は6億49百万円（前年同期は経常損失8億46百万円）、四半期純損失は7億91百万円（前年同期は四半期純損失12億87百万円）となりました。

### ● LED照明機器市場への本格参入を発表

当社は、環境分野において、事業子会社であるNKワークス株式会社を通じ、LED照明機器市場へ本格参入を致しました。これまでグループ中核事業のイメージング事業において、環境に負荷をかけないモノづくりを心掛けてきました。そのモノづくりで培ってきた技術を活かし、現在さまざまな角度から環境問題解決のために貢献できる商品やサービスの開発を進めております。そしてこの度、従来の製品に比べ(※)放熱性能と発光効率を高め、長寿命化(80,000時間)を実現したLEDベースライト『AdvanLED Lighting』を投入し、本格的にLED照明機器市場へ参入しました。

地球環境保護に対する世界的な意識の高まりを背景に、二酸化炭素削減や省エネなど身近な環境問題のソリューションの一つとして、主に大型商業施設や公共施設などでの需要を見込んでおり、まずは天井埋込型、直付型などのLEDベースライトを中心に販売を強化して参ります。

※2011年9月28日現在までに生産開始が発表されている商品において(当社調べによる)

#### 〈LEDベースライト『AdvanLED Lighting』の特長〉

『AdvanLED Lighting』に搭載されているLEDモジュールは、プリント基板を介さずアルミベースに直接LEDチップを実装させるCOM(Chip On Metal)構造を採用することにより、放熱性能と発光効率を高め、製品寿命を格段に向上させることを実現しています。

ノリツ鋼機ホームページもご覧ください。

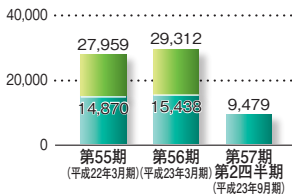
<http://www.noritsu.co.jp>

会社概要・IR情報・最新ニュースを掲載しているサイト

# 業績の推移

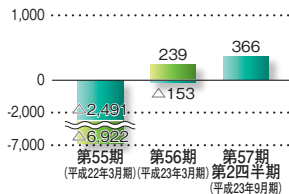
## 連結売上高

(百万円) 期末 第2四半期  
60,000



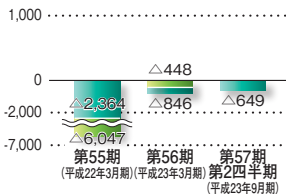
## 連結営業利益(△は損失)

(百万円) 期末 第2四半期  
2,000



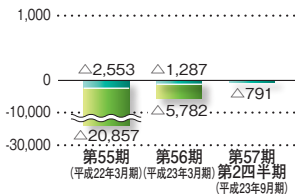
## 連結経常利益(△は損失)

(百万円) 期末 第2四半期  
2,000



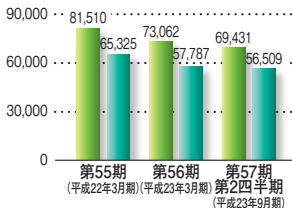
## 連結四半期(当期)純利益(△は純損失)

(百万円) 期末 第2四半期  
2,000



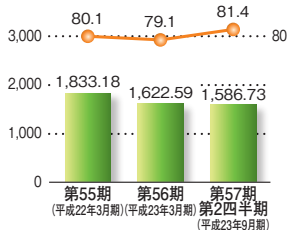
## 総資産(連結)／純資産(連結)

(百万円) 総資産 純資産  
120,000



## 1株当たり純資産(連結)／自己資本比率(連結)

(円) 1株当たり純資産 自己資本比率(%)  
4,000 90



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
定時株主総会 の基準日	毎年3月31日 その他必要のある場合は、 あらかじめ公告して定めます。
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号 Tel. 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所・大阪証券取引所 各市場第一部
証券コード	7744
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL <a href="http://www.noritsu.co.jp">http://www.noritsu.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に公告いたします。)

### 【お知らせ】

- (1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、配当金の口座振込のご指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。三菱UFJ信託銀行全国本支店にてお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。